

## ニプロパッチ 新工場建設に関するお知らせ

このたび、ニプロ株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：佐野 嘉彦）は、医薬品事業の急拡大に伴い、外用剤の安定供給体制を確立するため、グループ会社であるニプロパッチ株式会社（本社：埼玉県春日部市、代表取締役社長：甲斐 俊哉）の新工場を秋田県大館市二井田工業団地に建設することとなりましたのでお知らせいたします。

当社は、2020年度に連結売上高5,000億円を目標としており、医薬品事業部門においては、販路のグローバル化、コスト面での競争優位の確立および生産能力の拡充が急務となっております。また、近年、これまで経口剤あるいは注射剤として投与されていた薬物を経皮吸収製剤とする研究開発（TTS[※1]化）もLCM[※2]強化の観点から盛んに行われており、経皮吸収製剤の需要は更なる高まりを見せつつあります。

これらの環境変化に的確に対応するため、ニプロパッチ株式会社は、グループ内唯一の外用剤メーカーとして、①生産能力を拡充し、先進国を中心に需要の拡大が見込まれる外用剤を良質・廉価に供給すること、②3極GMP[※3]についてはPIC/S[※4]に対応した品質保証体制を完備すること、③災害リスク回避のための複数サイトでの製造体制を整備することの3点をコンセプトとした工場を建設いたします。なお新工場は、溶剤型テープ剤を中心に生産をスタートし、将来的には、他の外用剤を含めた多種製剤への対応を目指すほか、併せて新興国への供給も計画しております。

(※1) TTS：Transdermal Therapeutic System 経皮吸収型製剤

(※2) LCM：Life Cycle Management 有効性、安全性、使用方法などに付加価値をつけることにより、製品価値を最大化すること。

(※3) 3極GMP：Good Manufacturing Practice 日・米・欧州の厚生当局[日（厚生労働省）・米（FDA）・欧（EMA）]が規制する製造管理、品質管理に関する基準。

(※4) PIC/S：Pharmaceutical Inspection Convention/Pharmaceutical Inspection Co-operation Scheme 医薬品査察協定および医薬品査察協同スキームの統合呼称→世界標準の品質システムおよびGMP基準

(記)

### 新工場の概要

- |          |   |
|----------|---|
| (1) 名称   | ニプロパッチ株式会社 大館工場   |
| (2) 所在地  | 秋田県大館市二井田字前田野5番66号  |
| (3) 建物概要 | 構造 鉄骨造 2階建て<br>建築面積 約 3,374 m <sup>2</sup><br>延床面積 約 4,532 m <sup>2</sup> |
| (4) 総投資額 | 約 3,800 百万円   |
| (5) 生産品目 | 溶剤型テープ剤   |
| (6) 生産規模 | 年間 1億枚  |
| (7) 稼働開始 | 2016年4月（操業開始予定）   |

(次ページに続く)



(完成予想図)

＜お問い合わせ先＞  
ニプロ株式会社 広報担当 TEL 06-6375-6700